

善福寺川流域再考

杉並区・中野区を流れる善福寺川は、典型的な都市河川の一つであり、近代化の中でその姿を大きく変えた。現在、三面コンクリート張りの川には、集中豪雨時に汚水混じりの雨水が流れ込み、低地の市街地は浸水リスクに曝される。一方で、善福寺川沿いには善福寺風致地区や和田堀風致地区など緑豊かな住環境が存在し、農地や屋敷林など江戸近郊農村時代の遺産が引き継がれている。

本演習では、人口減少や気候変動など将来の課題に対し、江戸時代や戦前に作られた都市のグリーンインフラ（緑の都市基盤）を活かしながら、人と自然との関係性を再構築し、災害に強く、かつ自然の恵みが最大限発揮される新しい都市像を描くことを目的とする。なお、本演習はグループワーク形式とし、①流域スケール、②敷地スケール（1:200~1:500）の計画・デザインを行う。

【スケジュール】

- 6/02（第1回）現地視察
- 6/09（第2回）計画方針の検討
- 6/16（第3回）計画案の作成
- 6/30（第4回）中間発表
- 7/07（第5回）デザイン案の検討
- 7/14（第6回）図面・模型の作成
- 7/28（第7回）発表準備
- 8/04（第8回）最終発表
- オプション —
- 9/09（予定）現地成果発表会

【講師】

課題責任者：都市工学専攻 特任講師 飯田晶子
特別講師：（株）folk代表取締役 三島由樹

■ 問い合わせ先：
飯田晶子 iida@epd.t.u-tokyo.ac.jp

■ 参考：過去の演習 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/otsumachi>

